

赤い羽根共同募金

毎年、咲洲みなみ小中一貫校ではこの時期に赤い羽根共同募金を行っています。

この共同募金が始まったのは、今から 74 年前の 1947 年で、今では、世界の 43 カ国で行われているそうです。「赤い羽根」の意味は、「よい行い」や「勇気」を表すそうです。

日本で行っているこの赤い羽根共同募金は、都道府県ごとに行っているのも、みなさんが募金してくれたお金は主に大阪で使われます。その使い道は、身近にいるお年寄りや、障害のある方など、生活に手助けが必要な人、社会的孤立や経済的困窮の状態にある方々のために多く使われます。

例えば、電動の車椅子を買ったり、お風呂に入ることができないお年寄りをお風呂に入ってもらえる車を買ったり、盲導犬を育てたりする費用に使ったりします。

一人一人は少しずつのお金でも、たくさんの人が協力すると、いろいろなことができるお金になります。一台 10 万円の車椅子は、一人 100 円でも、1000 人分集まれば、買うことができます。

日本全国では、この赤い羽根共同募金で集まる合計金額は、毎年、200 億円になるそうです。原価は約 1 円のニワトリの羽だそうなので、100 円募金すれば、99 円が困っている人に届けられることになります。

赤い羽根共同募金以外にも、いろいろな募金があるそうです。

緑の羽根共同募金は、緑を増やすために使われます。よく見ますよね？

その他に青い羽根共同募金や黄色い羽共同募金もあるそうです。

この後、運営委員会の仲間が今回の募金についてみなさんにお話をしてくれますので、しっかり聞いて、募金に協力してください。1 回のおやつやジュースを我慢して、募金をしてくれれば嬉しいです。